

## ～手作業の技術と経験の世界 境界杭うち～

国の土地であることを示す、赤い杭が道路にあるのをみたことがありますか？今回は、境界杭を入れる様子について紹介します。機械化が進んでおりますが、細部の調整や施工はやはり作業員さんの経験と技術に支えられています。機械ではどうしてもできない部分を人の手で調整する必要があります。

日本の技術は、こうした作業員さんの技術と経験が積み重ねられているのだなと肌で感じてきました。

その様子をレポートします！！



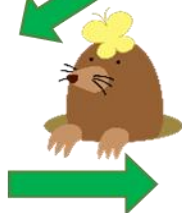
①測量をもとに、杭を入れる位置を確認



②機械で穴を掘る(深さ1m以上！)



③人の手で穴の深さを調整



④杭を穴に入れ、測量して位置を確認して埋める



⑤機械で穴を掘ったところを整地



⑥施工完了

実は1mの杭が埋まっています